

デザインを取り巻く現状（共通認識）

○産業のグローバル化（アジアを中心とした海外企業との市場競争、産業構造の変化）

- ・中国・韓国がデザインにおいても攻勢を強める中、国内のものづくり企業は、「高機能」「高品質」「低価格」といった従来の価値軸だけで競争力を維持・強化することが困難な状況
- ・中小ものづくり企業においては、売れる自社製品の開発、新たな販路の開拓の必要性に迫られる
- ・地球環境問題や誰もが暮らし易い社会の実現など、デザインへの期待の高まり（エコデザイン、ユニバーサルデザイン、キッズデザイン 他）

○デザイン業界の状況変化

- ・デザイン事務所の年間売上高の低さと減少傾向
 - ⇔対する東京の増加傾向
 - ・近畿のデザイン事務所の年間売上高：261億円（03年）
（全国シェア18.7%）⇒東京は523億円（37.5%）
 - ・近畿の年間売上高推移は下落傾向
（90年：29.7%⇒03年：18.7%）⇔東京は95年から回復傾向
- ・デザイン人材の減少傾向
 - ・近畿のデザイン事業所数は全国に比べ早いペースで減少傾向
近畿 96年：2,774ヶ所、06年：2,255ヶ所（19%減）
全国 96年：10,210ヶ所、06年：9,906ヶ所（3%減）
 - ・従業員数についても同様（96年：12,081人、06年：9,452人）
⇒東京は事業所数、従業員数共に増加傾向継続
（96年：3,809ヶ所、19,931人、06年：3,947ヶ所、22,101人）

○デザイン面での大阪・関西の強み（デザインの知の拠点集積）

- ・デザイナー数（1,839人（対全国比20.0%））
- ・デザイン事務所数（2,255事務所（対全国比22.8%））
- ・デザイン系大学・短大（40校（対全国比24.2%））
- ・同学生定員数（10,563人（対全国比27.7%））

○大阪・関西におけるデザインに対する認識の不足

- ・デザインやアイデアなど形のないものへの価値評価の低さ（適切なフィー収入が得られない）

解決すべき課題

- ⇒デザイン市場の東京集中とデザイン人材の東京流出
- ⇒デザインのポテンシャルを活かした、感性価値に優れた製品開発による産業国際競争力強化
（優れた日本文化+デザインを製品・サービスに導入し、日本でしかつくれない製品・サービスを生み出す）
- ⇒大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力の強化

目標設定

- ①デザイン需要の喚起によるデザインビジネスの活性化と新たな市場の創出
- ②世界で活躍できるスター・デザイナーの発掘・育成の土壌作り

取り組みの柱

- ①デザインビジネス促進による普及啓発
 - ・企業経営者へのデザインの必要性、導入効果、考え方の普及啓発
 - ・デザイナーに対する、新たなデザイン需要や発想法、市場ニーズ等の普及啓発
 - ・デザイナーと中小企業の出会いを促進・支援する取り組みの検討
- ②人材育成とその活用
 - ・次代を担う若手デザイナーの育成
 - ・エキスパートデザイナーの育成
- ③大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化
 - ・一般生活者への最先端デザインの普及・啓発
 - ・大阪・関西から国内外への最先端デザインの普及・啓発
 - ・海外のデザイン情報の収集と発信、国際交流の実施

推進体制

○国デ協継承資産運営委員会の設置

- ・地元自治体などが実施するデザイン振興政策と連携し、産業やまちづくり、生活の場面にデザインの導入・活用が加速度的に進む契機となる事業を集中展開し、国内外に関西のデザイン力を発信することで、国際競争力のある地域づくりをめざす。

【目的】

- ・大阪・関西においてデザイン振興による地域・産業の活性化を目的とした事業を効果的・効率的に行うために、産学官が連携・協力し、取り組みを推進する。
- ・JDFから受け継がれた財産の管理、及びJDFの財産をもって行う事業に関し、理事会に提出する収支予算、事業計画の審議。

【機能】

- ・大阪・関西のデザイン振興に関する企画・立案および意見交換
- ・具体的取り組み内容の検討・実施方針の決定
- ・財源（ODC特別会計）の運用管理

【メンバー】

- ・大阪商工会議所、大阪府、大阪市、近畿経済産業局
事務局：(財)大阪デザインセンター

具体的取り組み案

1. デザインビジネス促進による普及啓発

- ①中小企業に対するデザイン活用の促進
 - ・デザイン総合相談事業（D-チャレンジ）事業【府】
 - ・出かけるデザイン相談事業【府】
 - ・デザインビジネスプロモーションセンター事業【市・ODC】
- ②産業界への支援
 - ・関西デザイン撰の策定【近畿経済産業局】
 - ・デザイン開発支援研究【府】
 - ・サロン・交流会・オフ会の実施【府】
- ③関連機関への協力
 - ・講師・委員等への専門職員派遣【府】
- ④新市場開拓のための新商品・サービス開発の促進
 - ・リビング&デザイン展連携事業

2. 人材育成とその活用

- ①次代を担う若手デザイナーの育成
 - ・ATCデザイン振興プラザ インキュベーション事業【市・ODC】
 - ・デザイン学生インターンシップ支援事業【ODC】
- ②デザイン人材の育成
 - ・デザイン・オープン・カレッジ事業【府】
 - ・ODCサロン【ODC】
- ③デザイン活用成功事例の普及
 - ・デザインマネジメント研究会
- ④デザインコーディネーターの育成
 - ・デザイン塾「エキスパートデザイナー育成講座」
- ⑤高度デザイン人材の活用方策の検討（交流・マッチングの促進）
 - ・デザイナー派遣・相談事業【市・ODC】
 - ・デザイン道場【近畿経済産業局】

3. 大阪・関西のデザインに対する意識改革と発信力強化

- ①関西のデザイン力を国内外に発信するためのイベント等の実施
 - ・CrIS関西【近畿経済産業局】
 - ・関西デザインポテンシャルマップの作成【近畿経済産業局】
 - ・関西デザインシンポジウム開催【近畿経済産業局】
 - ・「クリエイティブストリームオオサカ」での共通プロモーション【市】
 - ・クリエイティブネットワークセンター大阪（仮称）事業【市】、
- ②ライフスタイル全般にわたるデザインの発信力強化
 - ・大阪スタイリングエキスポ 2010
（「リビング&デザイン展」との連携）
- ③グッドデザイン・アワード選定事業、
- ④近畿ものづくりのポテンシャル顕在化
 - ・ポータルサイト（GOOD DESIGN KINKI（仮称））の構築
- ⑤ユーザーとともに考えるデザイン展（仮称）、
- ⑥海外のデザイン団体との交流（デザイン情報の収集・発信）
 - ・香港デザインセンターとの交流